



校報しのめ 5月号

令和8年5月12日 松山市立東雲小学校



「掌」たなごころ 子どもの目の高さで

校長 山内 望

令和8年度第1学期がスタートして、1か月が経ちました。4月24日（金）には、参観日とPTA総会、そして引渡し訓練を実施しました。平日にも関わらず、多くの保護者の皆様にご参加・ご協力いただき、お子様や学校に対する皆様の温かな気持ちを改めて実感しました。本当にありがとうございました。

さて、私は先月、愛媛新聞のエッセーを読んで、恥ずかしながら「掌」の訓読みが「てのひら」「つかさど(る)」以外に、「たなごころ」と読むことを知りました。なぜ、「たなごころ」と読むのか知りたくなり、インターネットで調べてみました。すると、佐賀県鹿島市生涯学習センターのHP「館長コラム」に、「もともとは「手の心」だったそうです。(中略)手の平で相手の背中をさすったり痛いところを優しく撫でたりすると、不思議と痛みが和らいだり怒りが収まったりすることが最近の脳科学で証明されました。私たちの手の平は、心の力を発したり受け取ったりする心の装置かもしれません。」との記述があり、思わず納得しました。

子どもは、幼い時期からハイタッチが好きです。それは、手の平を合わせることで、自分を見てもらっている安心感や喜び、気持ちの共有などが実感できるからでしょう。また、ハイタッチのような触れ合いは、脳内に「幸せホルモン」と呼ばれるオキシトシンを分泌させるそうです。よって、辛い気持ちを和らげるということにも効果があるということです。ハイタッチは子どもへの関わり方の一つの形ですが、ご家庭や地域の皆様とともに、子どもと目の高さを同じにして、励ましたり、頑張りを認めたりすることで、自己肯定感を高め、さらに自分のよさを発揮できるようにしていきたいと考えています。

5月23日（土）開催の運動会に向けて、連休明けから特別時間割が始まりました。子どもたちは、運動会当日を目指して、出場する種目や役割に目標を持って取り組んでいます。熱中症の予防等、子どもたちの健康面に留意しながら練習していきますので、ご家庭では毎日の飲み物の準備や健康管理等にご協力ください。

最後になりましたが、近隣の皆様には、練習時の放送等でご迷惑をお掛けいたしますが、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。